

令和 元 年度実績に関する施策・基本事業評価表（兼 主要な施策の成果報告書補足資料）

基本目標No.	1	基本目標名	にぎわい、活力あるまち							
施策 No.	9	施策名	観光の振興							
主管課名	商工観光課									
関係課名	企画政策課、地域協働課、農林水産課、生涯学習・スポーツ課、埋没林博物館、水族博物館									
施策が目指す すがた	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活かした観光振興により、多くの人が訪れ、にぎわっています。 ・広域的な観光連携が進み、外国からの観光客も増加しています。 ・観光客の増加により地元消費が生まれ、地域全体が活性化しています。 ・おもてなしの心で観光客を受け入れる体制が整っています。 									
施策の成果向上に向けての 住民と行政との 役割分担や地域 等への期待 など	市民 ・ 事業所	<ul style="list-style-type: none"> ・来訪者に対し、おもてなしの心をもって接します。 ・観光行事に積極的に参加し、にぎわいのあるまちにします。 ・市民自ら地域の魅力を再発見し継承します。 ・市民自ら地域の魅力を全国に発信します。 								
	行政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興条例及び観光振興計画を策定し、地域の活性化と広域的な観光を推進します。 ・関係機関との連携を図り、地域の情報の発信等に努めます。 ・地域の観光資源開発を各種団体と共に進めます。 								
	その他 (地 域)									
施策を実行する うえで基本となる 事業	基本事業①	観光資源のブランド力向上と整備								
	基本事業②	情報の活用と受け入れ体制の整備								
	基本事業③	広域観光ネットワークの振興								
	基本事業④									
施策の トータルコスト	区 分			単位	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	30年度実績	元年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本			14 (14)	14 (14)	14 (14)	18 (18)	14 (14)	15 (15)
	基本事業①を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本			6 (6)	5 (5)	5 (5)	8 (8)	5 (5)	6 (6)
	基本事業②を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本			7 (7)	8 (8)	8 (8)	9 (9)	8 (8)	8 (8)
	基本事業③を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本			1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	基本事業④を構成する事務事業の数(うち自治事務数)	本								
	B. 事業費（事務事業の事業費合計）	千円			142,335	70,270	57,471	152,021	64,484	225,387
	基本事業①を構成する事務事業の決算額小計	千円			98,254	12,231	12,160	83,660	7,877	175,972
	基本事業②を構成する事務事業の決算額小計	千円			40,263	54,158	40,348	56,420	46,873	40,192
	基本事業③を構成する事務事業の決算額小計	千円			3,818	3,881	4,963	11,941	9,734	9,223
	基本事業④を構成する事務事業の決算額小計	千円								
C. 施策に携わる正規職員数合計	人			37	34	29	41	31	38	
D. 事務事業に要する年間総時間	時間			11,420	11,180	9,900	15,900	16,200	14,180	
E. 人件費（D×1時間あたりの平均人件費）	千円			50,042	46,744	40,699	64,029	64,994	61,740	
F. トータルコスト（B+E）	千円			192,378	117,014	98,170	216,050	129,478	287,127	
効 率 性 指 標	市民1人あたりにおける施策の									
	G. 事業費（定義式：B/人口）	円			3,268	1,628	1,346	3,590	1,531	5,409
	同 上	円			1,149	1,083	953	1,512	1,543	1,482
	H. 人件費（定義式：E/人口）	円			4,417	2,712	2,299	5,103	3,073	6,890
同 上	円			4,417	2,712	2,299	5,103	3,073	6,890	
I. トータルコスト（定義式：F/人口）	円			4,417	2,712	2,299	5,103	3,073	6,890	
参 考	1時間あたりの平均人件費			円	4,382	4,181	4,111	4,027	4,012	4,354
	魚津市の人口(各年度12月末時点)			人	43,555	43,152	42,706	42,340	42,132	41,672

基本事業概要シート①

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	①観光資源のブランド力向上と整備		
基本事業の目的(意図)	市内の観光資源の連携活用で、ブランド力の向上を図り、観光客が再び訪れたいような魅力ある魚津をつくり上げるための支援や整備を行います。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【観光・物産宣伝事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津市への誘客を図るため、じゃんとこい魚津まつりや漁火まつり、よっしゃ来い!!CHOUROKU祭り等の各種イベント開催への助成を行いました。 <p>【定住・交流促進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の魅力PRを含めて、魚津への移住定住を勧めるセミナー等を、首都圏(2回)、関西圏(2回)で行いました。 <p>【食泊連携事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者への情報提供を目的とした、魚津駅周辺の飲食店情報を盛り込んだマップを作成し、市内宿泊施設に配布しました。 <p>【産業観光推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業所の魅力を伝える産業観光ツアーを2回開催し、計39名の参加がありました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
観光客入込数	千人	1,464	1,561	1,539	1,870 1,557	1,890 1,525	1,910 1,496	1,930 1,536	1,950
宿泊者数	千人	223	312	286	298 308	316 293	334 269	352 295	370

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般会計	○ ふるさと納税推進事業	213,309,000	173,178,040	40,130,960	A	企画政策課
2	一般会計	○ 地域資源を生かしたまちづくり事業(畜大、能開大)	2,086,560	932,000	1,154,560	B	企画政策課
3	一般会計	○ 定住・交流促進事業	6,377,000	688,278	5,688,722	A	地域協働課
4	一般会計	産業観光推進事業	185,000	94,100	90,900	-	商工観光課
5	予算なし	○ 埋没林博物館交流拠点活用事業	0	0	0	B	埋没林博物館
6	一般会計	○ 博物館魅力アップ事業	1,080,000	1,080,000	0	B	埋没林博物館
7	一般会計	○ 食泊連携事業(施策9②再掲)	(1,006,000)	(451,050)	(554,950)	A	商工観光課
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14						0	
15						0	
16						0	
17						0	
18						0	
19						0	
20						0	
21						0	
22						0	
23						0	
24						0	
25						0	
26						0	
27						0	
28						0	
29						0	
30						0	
合計			223,037,560	175,972,418	47,065,142		

基本事業概要シート②

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	②情報の活用と受け入れ体制の整備		
基本事業の目的(意図)	観光客への情報提供や首都圏を中心としたPR活動や、ホームページや観光ガイドなどの情報インフラの充実と、外国人対応などの総合案内機能を強化します。		
令和元年度における主な事業内容(活動内容)	<p>【シティプロモーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚津の情報を掲載したリーフレットを作成し、県外の魚津ゆかりの方々や企業へ配布しました。 ・市公式フェイスブックで、イベントなどの情報を発信しました。 <p>【受入体制整備事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会及び観光案内所の支援を行うとともに、レンタサイクル「みらくる」の貸出、曇気楼展望地での清掃員・解説員の配置を行いました。 <p>【インバウンド推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・台北国際旅行博や観光旅行商談会に出席するとともに、朝日町と連携した現地台湾メディア招へい事業を行いました。 ・英語、中国語(繁体字版)の着地型パンフレットの作成、台湾向けホームページ、SNS等による情報発信を行いました。 ・地域おこし企業人交流プログラム制度を活用して、観光専門分野のノウハウや知見を活かすため、民間旅行会社から社員1名の派遣を受けました。 <p>【観光・物産宣伝事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、関西方面、井原市、飯山市等において、観光宣伝活動を行いました。 ・マスコミ等を活用した観光宣伝として、新聞、県内外テレビ及びラジオ局によるイベント紹介、各種情報誌への記事掲載、各種TVドラマ及び映画のロケ協力を行いました。 <p>【食泊連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊者への情報提供を目的とした、魚津駅周辺の飲食店情報を盛り込んだマップを作成し、市内宿泊施設に配布しました。 <p>【広域観光連携事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいかわ観光圏(事務局:黒部市商工観光課)、新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)の両協議会に参加し、首都圏、関西等において、観光宣伝活動を行いました。 ・とやま観光推進機構と連携し、観光資源の磨き上げを行いました。 ・日台観光サミット、世界で最も美しい湾クラブ世界総会in富山において、エクスカーションの実施及び交流会出展により、海外からの参加者にPRを行いました。 ・観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRに努めました。 <p>【コンベンション開催支援事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏・関西方面からの大学生の合宿誘致やコンベンション開催の際の宿泊誘致に努めるとともに、コンベンション実施団体への助成を行いました。 <p>【ふるさとワーキングホリデー推進事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏等の若者5名が一定期間滞在し、アルバイトをしながら魚津市での生活を体験しました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
観光ボランティア人数	人	18	27	31	38 32	41 39	44 40	47 38	50
魚津市観光協会HPアクセス件数	件	319,302	185,141	221,111	206,400 212,315	212,800 210,286	219,200 205,623	225,600 313,862	232,000

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				1次評価結果	担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)			
1	一般会計	○ シティプロモーション事業	700,000	525,720	174,280	B	企画政策課	
2	一般会計	○ 受入体制整備事業	17,265,000	14,841,381	2,423,619	A	商工観光課	
3	一般会計	○ 観光・物産宣伝事業	14,175,000	13,122,219	1,052,781	A	商工観光課	
4	一般会計	○ 食泊連携事業	1,006,000	451,050	554,950	A	商工観光課	
5	一般会計	○ インバウンド等推進事業	6,850,000	6,816,200	33,800	A	商工観光課	
6	水族館事業特別会計	水族博物館観客誘致事業	2,065,160	1,476,810	588,350	-	水族博物館	
7	水族館事業特別会計	水族博物館広告宣伝事務	1,601,864	1,601,864	0	-	水族博物館	
8	一般会計	埋没林博物館観客誘致事業	1,742,000	1,356,956	385,044	-	埋没林博物館	
9								
10								
11								
12					0			
13					0			
14					0			
15					0			
16					0			
17					0			
18					0			
19					0			
20					0			
21					0			
22					0			
23					0			
24					0			
25					0			
26					0			
27					0			
合計			45,405,024	40,192,200	5,212,824			

基本事業概要シート③

施策 No.	9	施策名	観光の振興
基本事業名	③広域観光ネットワークの振興		
基本事業の目的(意図)	広域観光圏での連携を強化し、魅力ある周遊ルートやモデルプランをつくり、滞在型観光を促進します。 また、外国語パンフレットや案内標識などを整備し、国際化に対応したまちづくりで来訪者数の増加を図ります。		
令和元年度における 主な事業内容(活動内容)	<p>【広域観光連携事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・にいかわ観光圏(事務局:黒部市商工観光課)、新川地域観光開発協議会(事務局:魚津市商工観光課)の両協議会に参加し、首都圏、関西等において、観光宣伝活動を行いました。 ・とやま観光推進機構と連携し、観光資源の磨き上げを行いました。 ・日台観光サミット、世界で最も美しい湾クラブ世界総会in富山において、エクスカージョンの実施及び交流会出展により、海外からの参加者にPRを行いました。 ・観光交流都市の飯山市と連携し、相互の広報誌を活用したイベント情報の発信など観光PRIに努めました。 <p>【受入体制整備事業】(再掲)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光協会及び観光案内所の支援を行うとともに、レンタサイクル「みらくる」の貸出、壱気楼展望地での清掃員・解説員の配置を行いました。 		

成果指標名	単位	実績値			目標値(上段)及び実績値(下段)				
		H22年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R02年度 (最終目標年度)
新川地域観光客入込数	千人	5,149	4,853	5,344	6,215 5,432	6,406 5,328	6,597 5,222	6,788 5,285	6,979
新川地域内平均宿泊日数【H26年度で県調査終了】	日	1.5	1.11	—	1.87 —	1.92 —	1.97 —	2.02 —	2.07

基本事業を構成する事務事業の実績(○:評価対象事業(総合計画の主な事業など) -:評価対象外事業)

No.	会計名	事務事業名	令和元年度				担当課
			予算現額(円)	決算額(円)	予算残額(円)	1次評価結果	
1	一般	○ 広域観光連携事業	9,343,000	9,222,500	120,500	A	商工観光課
2	一般	○ 受入体制整備事業(施策9②再掲)	(17,265,000)	(14,841,381)	(2,423,619)	A	商工観光課
3					0		
4					0		
5					0		
6					0		
7					0		
8					0		
9					0		
10					0		
11					0		
12					0		
13					0		
14					0		
15					0		
16					0		
17					0		
18					0		
19					0		
20					0		
21					0		
22					0		
23					0		
24					0		
25					0		
26					0		
27					0		
28					0		
29					0		
30					0		
合計			9,343,000	9,222,500	120,500		

施策 No.	9	施策名	観光の振興
令和元年度の 評価結果(基本 事業の成果を 考慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景 (成果水準が、ここ数年の間どのように推移しているか、近隣他市と比較してどうか、住民期待水準と比較してどうかなどを記述)		
	<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光客の入込数は1,536千人(昨年比39千人増)、宿泊者数は295千人(昨年比26千人増)となりました。また、インバウンド宿泊者数は13,503人(昨年比3,258人増)となり毎年増加が続いています。 ◆とやま観光推進機構と連携し、本市の観光資源「食」の磨き上げを行い、PRに努めています。 ◆他の県内自治体同様、首都圏等での移住定住セミナーで魚津市のPRに努めました。 <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光ボランティア数は順調に伸びていましたが令和元年度は若干減少しました。今後も地道に増やしていくことが重要であり、広報紙等を通じ、人員の増に努めています。 ◆観光協会のホームページアクセス数はこれまで減少傾向にありましたが、令和元年度は東山円筒分水槽が注目を集め前年度比で約8,000件増加しました。 ◆平成27年3月の北陸新幹線開業以来、魚津駅前観光案内所の利用者は、令和元年度は10,393人(H30年度10,626人)で減少傾向にあります。一方、台湾をはじめとする外国人宿泊者数は増加しており、外国語パンフレットの作成など受入体制の整備に努めています。 ◆ふるさとワーキングホリデー推進事業の参加者との交流に努めています。 <p>【③広域観光ネットワークの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新川2市2町の観光客入込数は、増減を繰り返しており、増加傾向が継続しない状況です。 ◆近隣市町・観光協会等で構成する「にいかわ観光圏」や「新川地域観光開発協議会」による首都圏等での出向宣伝活動を始めた、広域的な観光の推進に継続して取り組んでいます。 		
	2. 施策の成果実績に結びついている主な取り組み(事務事業)の総括 (令和元年度において、施策及び基本事業の成果向上に貢献した主な事務事業の取り組み内容を中心に記述)		
<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】</p> <p><定住・交流促進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆SNSによる情報発信や県・近隣市町と連携したイベント、相談会等の実施により移住希望者への周知が図られました。 <p><観光・物産宣伝事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆じゃんとこい魚津まつりや漁火まつり等に補助を行うことにより、イベント内容の充実化等が図られました。 <p><産業観光推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆市内企業をめぐる産業観光ツアーを、魚津産業フェア〇〇魚津において試行的に開催し、別日程でも1回催行したところ、大変好評を得ました。 <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】</p> <p><食泊連携事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆魚津駅周辺の飲食店マップの作成により宿泊施設利用者に飲食店の情報を広く周知しました。 <p><インバウンド推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆台湾現地で開催された国際旅行博や旅行社に対する商談会へ参加するとともに、朝日町と連携し、台湾人メディア招へい事業を実施しました。 ◆市内体験プラン等を取材、PRしていただき、多くの現地台湾人に魚津を知っていただきました。 ◆インバウンド向けのホームページやSNSの活用により情報発信を行いました。 ◆地域おこし企業人制度の導入により、おもてなし意識の向上と新たな観光資源を開発することができました。 <p><受入体制整備事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆平成28年度に策定した第2次魚津市観光振興計画のもと、計画的な観光の推進や各種団体等の連携強化、受入体制の整備に努めてきました。 ◆観光協会の補助を一括補助金としたことなどにより、円滑な運営と体制の強化が図られました。 <p><ふるさとワーキングホリデー推進事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆参加者が魚津市内で生活し、市の魅力を体験することができました。 <p>【③広域観光ネットワークの振興】</p> <p><広域観光連携事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆にいかわ観光圏事業、新川地域観光開発協議会等による近隣他市町との観光連携により、広域的なPR活動を実施しました。着地型、発地型の観光PRなどそれぞれの持つ役割を明確にし、効果的な活動に努めました。 ◆とやま観光推進機構と連携し、観光資源磨き上げ事業を実施し、「食の街」としてPRしました。 ◆日台観光サミット及び世界で最も美しい湾クラブ世界総会in富山において、エクスカーションまたは交流会での出展により、海外からの参加者にPRをすることができました。 			
3. 施策の課題認識及び取り組み状況 (前年度末で残った課題、既に現年度で取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述)			
<p>【①観光資源のブランド力向上と整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆出展するセミナーの厳選やPR内容の精査により、相談対応の件数、移住実績を増やしていきます。 ◆観光イベントは、事業の態様や実施体制を検証するなど、より効果的に事業が行えるよう努めます。 ◆地域資源の磨き上げによるブランドの質の向上と人材を活かした観光の推進、並びに、情報の収集及び発信が観光の推進における重要な課題であり、第2次観光振興計画に基づき、各種事業を展開していきます。 <p>【②情報の活用と受け入れ体制の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆観光協会の果たす役割が大きくなってきている中、自立に向けた人的・財政的強化が必要です。また、ホームページの更新は、旅行者にとって見やすく、必要とされる内容を吟味したものに更新や、駅前観光案内所の強化・持続的な運営も大きな課題です。このような状況の中、観光振興条例・計画に基づき、行政と各種団体及び観光関連事業者・市民が果たす役割を着実に推進していきます。 ◆魚津の大きな魅力である食にこだわった食泊連携事業を実施し、さらなる展開・関係団体との連携を図ります。 ◆インバウンド推進事業は、魚津市単独でのPRでは効果が薄いと考えられることから、県内自治体や周辺の著名観光地とも連携した事業を実施します。また、台湾以外でのPR、及び中国語(繁体字)のほか英語などのパンフレットの充実を図ります。 ◆ふるさとワーキングホリデー推進事業の参加者に、魚津市の情報を発信してもらえるよう交流に努めます。 <p>【③広域観光ネットワークの振興】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆新川地域観光開発協議会、及びにいかわ観光圏の役割を明確にし、効果的な連携体制のもと、観光振興につなげていきます。 ◆インバウンド対策にも広域的に取り組んでいく必要があり、地域おこし企業人のアドバイス等を受けながら滞在型、周遊型観光メニュー開発、充実を図ります。 ◆県やとやま観光推進機構と連携したPR活動や資源の磨き上げに取り組みます。 			